

# SAIKYO BANK

MINI DISCLOSURE 2020

ミニディスクロージャー誌  
第112期事業のご報告

第16回 スペシャル対談

## 地域と育み かたちにする地方創生

山口大学長 岡 正朗 さん

一人でも多くのお客様さまに  
「さすが西京」のサービスを。



山口大学 吉田キャンパス「FAVO」



# 「地域の皆さまのお役に立つ！」 銀行を目指して

取締役頭取 平岡 英雄



皆さま方には、平素より西京銀行に格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび2020年3月期における当行の業績や地域貢献に関する取組み等をまとめたミニディスクロージャー誌を作成いたしました。ぜひご一読いただき、当行に対するご理解を深めていただければ幸いです。

さて、わが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、個人消費や企業収益が足下で大幅に下押しされており、今後の内外経済のさらなる下振れリスクに十分注意する必要があります。

こうした中、当行では、中期経営計画の長期ビジョンである「地域に根差した中小・小規模事業者さまと個人のお客さまのための銀行」を目指して、地域活性化のための様々な努力を続けておりますが、一層の強化のため、昨年11月に「西京銀行グループSDGs宣言」を策定いたしました。

具体的な活動として、寄付金付き「銀行保証付私募債」の取扱いを開始し、地元企業と共に、地域社会の発展や課題解決のための資金を地方公共団体や学校等に贈呈するほか、高齢化社会の課題である認知症対策として民事信託商品「家族の“絆”サポート」の発売など、新たな取組みを開始しました。

現在は、新型コロナウイルスの感染拡大により影響を受けられたお客さまをサポートするため、特別融資の取扱いや休日相談窓口の設置など、お客さまからのご相談に迅速に対応することを、地域金融機関の使命として最優先で取り組んでおります。

当行は、これからも地域とともに持続的に成長できる社会を実現するため、「金融を通じて地域の皆さまのお役に立つ」というミッションの下、一人でも多くのお客さまにお取引いただける銀行を目指し、引き続き努力して参る所存でございます。

今後とも、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 【企業理念】ACT-BANK

- A** active bank  
▶ 地域を活性化する銀行
- C** ommunication bank  
▶ お客さまとのコミュニケーションを大切にする銀行
- T** trend bank  
▶ 時代のニーズを先取りし創造していく銀行

## 【プロフィール】(2020年3月31日現在)

本店所在地 ▶ 山口県周南市平和通1丁目10番の2

創業 ▶ 1930年

資本金 ▶ 234億9千万円

従業員数 ▶ 852名

(注) 従業員数は、嘱託及び臨時従業員数164名を含む。

## 2020年3月期 決算ハイライト(単体)

### 地元から地元へ 資金の地域内循環

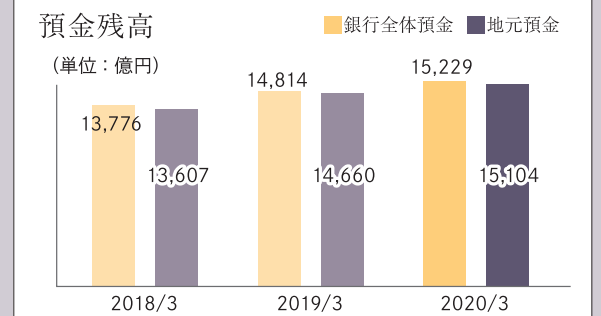
(地元：山口県・広島県・福岡県)

#### 預金

1兆5,229億円

前年同期比+415億円

うち地元割合 ▶ 99.1%

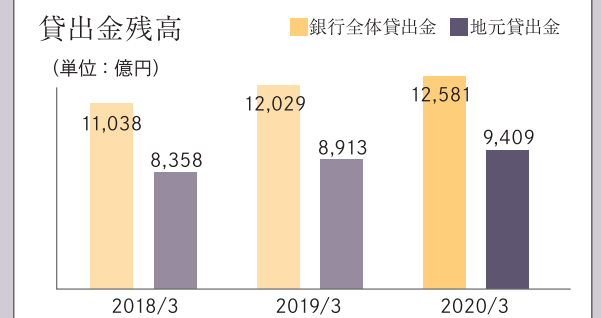


#### 貸出金

1兆2,581億円

前年同期比+551億円

うち地元割合 ▶ 74.7%



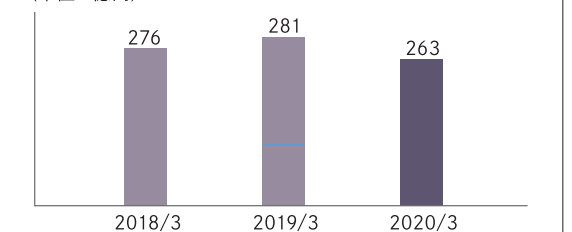
#### 経常収益

263億42百万円

前年同期比▲17億91百万円

#### 経常収益

(単位：億円)



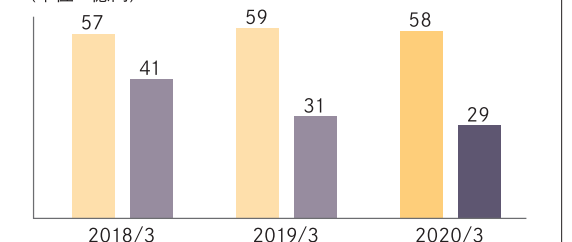
#### 業務純益

58億65百万円

前年同期比▲1億28百万円

#### 業務純益・当期純利益

(単位：億円)



#### 当期純利益

29億32百万円

前年同期比▲2億45百万円



# 地域と育み かたちにする 地方創生

西京銀行 取締役頭取  
**平岡 英雄**

SAIKYO

山口大学長  
**岡 正朗**



“地域に貢献できる人材を育てる”。

熱い志で、2015年から、COC+事業「やまぐち未来創生人材育成・定着促進事業」を推進された山口大学の岡正朗学長。

地域の意見を取り入れた教育プログラム、目指すべき大学の姿、山口県への想いについて、平岡頭取が伺いました。

## “オールやまぐち”による 全国最大規模のCOC+事業

**平岡** 本日は宜しくお願いいたします。岡学長はこれまで、さまざまな改革を通して地域に貢献する大学づくりを進めてこられました。2015年に発表された「明日の山口大学ビジョン2015」では「グローバル化」「イノベーション」「ガバナンス改革」とともに「地域貢献」を明確に謳っておられます。

**岡** 山口大学は山口県の大学ですから地域に貢献できる人材を育てなければなりません。2014年、学長に就任したとき、この使命を今一度、方針に掲げようと考えました。

**平岡** 2015年、文部科学省のCOC+事業に採択され、「やまぐち未来創生人材育成・定着促進事業」が始まりました。（～2020年3月末まで）

県内の高等教育機関と自治体、企業が協力して学生の県内就職率向上を目指したプロジェクトです。貴学が代表校となって推進されましたが、全国でも最大規模のCOC+事業だったそうですね。

※地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)：大学が地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先の創出をするとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組みを文部科学省が支援。

**岡** 本学が地域貢献に向けて動き出していたとき、ちょうどCOC+事業公募の話を知りまして、私たちにとっては渡り

に船でした。現在では県内177機関が参加し、ともに協働しながら進めていきました。

**平岡** “オールやまぐち”による産官学連携のプロジェクトですね。

**岡** ええ。ただ、人材育成と定着促進を目指す上で、山口県の人口が相当減っていて、他県よりも高齢化が進んでいるという現状を認識する必要がありました。これらは地域の活性化に影響を与えています。そんな中、どうやって学生に山口県の魅力を伝えていくのかを考えなければならませんでした。

**平岡** どのように魅力を伝えたのでしょうか？

**岡** 山口県には、売上が年間100億円以上の企業が約80社あり、良い企業がたくさんあります。若く優秀な人材が働くための受け皿が十分あるのです。ところが、学生は県内企業をほとんど知らないんですね。ですから1年生の時から県内に良い企業がたくさんあるということを知ってもらう機会を作りました。

代表的な取組みがJobフェアです。学生にどこで働きたいかとアンケートを取ると、県内希望者と共に、やりがいがあれば場所はどこでもよい、と答える学生が意外に多かったのです。県内企業の存在と魅力を知ってもらえれば、就職の流れにつながると考えました。これが3年生からでは遅いので、1年生の時から会社、仕事についてイメージしてもらうこと。まずはそこから始めようと思い、2016年度から毎年開催しています。





## YFL育成プログラムで養う 地域が求める「6つの力」

**平岡** COC+事業によるカリキュラムが「YFL育成プログラム」ですね。

※YFL (Yamaguchi Frontier Leader):やまぐち未来創生人材/リーダー

**岡** これは、アクティブラーニング、フィールドワークなどのカリキュラム全12単位(1年次～3年次)から成り、地域が求める「6つの力」を育成します。(「やまぐちスピリット」「グローバルマインド」「イノベーション創出力」「協働力」「課題発見・解決力」「挑戦・実践力」)

企業にどんな人材が欲しいのかヒアリングをして集約し、社会で必要とされる力を養成するカリキュラムを作りました。カリキュラム作成の際に、企業にヒアリングするということは、大学にとって新たな取組みでした。

**平岡** 特徴的なプログラムの一つにPBI(長期の課題解決型インターンシップ)がありますが、当行でも貴学の学生さんを受け入れました。通常のインターンシップとは異なり、学生が課題に向かって企業と一緒に取り組むことで、働くことへの理解がより深まっていくように感じました。

**岡** 物事に主体的・積極的に取り組み、リーダーシップの取れる人材が育ってきたと思います。また、企業側も熱心に自社をアピールされるとともに社員の人材育成にも役立っているとのこと、とても良い流れができたと思います。

**平岡** プログラムを学んだ学生は、「6つの力」がどの程度身に付いているか、六角形のレーダーチャートで分かりやすく確認できるそうですね。

**岡** はい。学修成果を可視化することによって、自分に何が足りないのか把握しやすくなります。今までのように優・良・可を付けるだけの成績の出し方では、どんな力が身に付いているのかが分かりづらいですから。

**平岡** 自分の弱い分野が分かれば、学修プランも立てやすく



なりますね。

**岡** 3年次終了時点では、県内企業とのマッチングをサポートし、6つのうちの力が優れているか、企業が学生の特徴を見ることができ、学生も企業情報を知ることができる仕組みを作りました。この仕組みを活用することで、学生と企業のミスマッチを抑えることができます。

## これからの時代のための ダイバーシティ・キャンパス

**平岡** 貴学では「ダイバーシティ・キャンパス」の創造を推進されています。

**岡** 2015年に「地方創生」と共に掲げたテーマです。もはや世界はボーダーレスを超えてグローバルの時代に入っています。もう国境ではなく地球規模で物事を考える必要があります。学生の教育においても、一つの学部、一つの大学の中で完結する時代は終わりました。また、この第4次産業革命の中、知識の高度化と何よりフレキシビリティ(柔軟性)が問われます。

まずはアジア圏が中心になりますが、10年後の2025年には、歴史・文化・民族・言語・宗教などの多様性を許容するキャンパスを実現するんだという決意を2015年に表明しました。この理念に沿って、多様性のある人材を育成する目的で開設したのが、文理融合型の国際総合科学部です。

**平岡** 今、大変人気のある学部です。交換留学生もこの学部で学んでいるそうですね。また、留学支援にも力を入れてられました。

**岡** 例えば、本学の学生・留学生が安心して修学できるよう、経済的な支援を行うための基金として2015年に「山口大学基金」を設立し、地域の方々のサポートもいただきながら、おかげさまで留学生の数は増えてきています。2019年には外国

人留学生が約800人になり、インバウンド、アウトバウンド両方で増えてきています。

**平岡** 当行では企業経営者と留学生の就職マッチングとして、「DISCOVER YAMAGUCHI」という取組みを行っていますが、近年、県内に就職する外国人の学生が増えています。

同時に、将来性を見据え、アジアを視野に入れて採用を行う企業も多くなりました。今、日本語のできる理系の外国人留学生は大変需要が高いですね。

**岡** なるほど。そのような情報がなかなか大学に入っていないですね。留学生の数は増えましたが、その先の採用に関わる情報が学内に不足しています。

今後は、企業さんにもご協力をいただいて、大学内で留学生向けの就職説明会などを開催したり、私たち大学関係者自身が情報を得て、もっとノウハウを積み重ねていくことが課題となります。

## 事業体の垣根を超えて 地方創生に貢献したい

**平岡** 県内ご出身の岡学長から見て、山口県の良い所、魅力はどういった所だとお考えですか？

**岡** 山口県の海の幸は本当に美味しいですよ。どの県にも負けないくらいだと思っています。夜空もきれいだし、もちろん自然も素晴らしいです。

ただ、そういった面だけではなく、工業県であり仕事のチャンスにあふれた場所だということをもっと若い人たちには知ってもらいたいですね。そして、小学生のときからもっと現代の山口県を覚えてもらいたいです。これは凄く大切なことだと思います。

**平岡** 最後にありますが、これからの時代の金融機関として、西



京銀行に対してご意見やアドバイスをいただけますでしょうか？

**岡** 御行は地域の情報をたくさん蓄積し、中小の企業に寄り添い、外国人留学生に対する就職支援など、さまざまな取組みをされておられることに大変感銘を受けております。本学としては、今後も地域連携プラットフォームの構想の中で、しっかりと各機関とスクラムを組んで、地域に貢献できる人材を育成していきたいと考えています。地方創生に向けて頑張っていく決意しておりますが、当然、私たち大学だけで成し遂げることはできませんので、ぜひ御行にさまざまな面でご支援、ご協力をお願いしたいと思っています。

※地域連携プラットフォーム:地域の国公私立大学が、地方自治体、産業界を巻き込んで、将来像の議論や連携、交流の企画を行う恒常的な体制。文部科学省が構築に向けたガイドラインを2020年3月ごろにまとめ、公表する予定。

**平岡** こちらこそ、ぜひ一緒にいろいろなことができると思っております。大学は敷居が高いと思っている企業さんも多いのですが、岡学長は非常にフットワークが軽いですし柔軟でおられます。当行としても、これから次のステップにつなげていけるよう協力をさせていただきたいと思っております。本日はお忙しい中、ありがとうございました。

この対談は2020年3月6日に行われたものです。

(場所:山口大学 吉田キャンパス)

## GUEST PROFILE

山口大学長

岡 正朗 Oka Masaaki

1950年5月5日、防府市生まれ。実家は代々続く医者の家系。山口県立防府高等学校卒業。1976年、山口大学医学部卒業後、同大学医学部附属病院の研修医、助手に就く。1981年、同大学大学院医学研究科外科系科学専攻を修了し医学博士となる。1988年、アメリカ合衆国クレイトン大学に研究員として赴任。1996年、山口大学医学部教授及び同大学医学部附属病院 第二外科長に就任。2006年、同大学大学院医学系研究科教授。その後、要職を歴任した後、2010年、同大学医学部附属病院病院長に就任。2014年4月から現職。



# SAIKYO 西京銀行

## 「西京銀行グループSDGs宣言」を策定しました!

西京銀行グループは、国連において採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向け、付加価値の高い金融サービスの提供を通じて、地域の課題解決と持続的な成長に貢献してまいります。

### ① 地域社会・経済の活性化への取り組み



## 第30回西京教育文化振興財団助成金交付式

- ▶西京銀行創立60周年記念事業の一環として、1990年3月26日に設立
- ▶山口県の教育、文化、スポーツの振興に顕著な功績のあった団体等に、助成金を毎年交付



《実績》

	助成先数	助成金額
今回	35先	530万円
累計	395先	1億830万円

## 2019年12月「銀行保証付私募債(寄付型)」取扱い開始

※銀行保証付私募債(寄付型):一定の財務基準を満たした優良企業が無担保で発行できる社債

▶発行企業とともに、地域社会の発展・課題解決に向けた活動を支援するため地方公共団体や学校等に連名で寄贈

	寄贈先	寄贈目的
第1号	下関市	観光振興
第2号	国立大学法人広島大学	大学のグラウンド整備

### ② 多様な人材の活躍を推進



## DISCOVER YAMAGUCHI

- ▶企業経営者と留学生双方のニーズをマッチングさせる取り組み
- ▶過去11回開催し、これまでに8名の参加留学生が山口県内に就職



## JOB Hunting @ 広島

- ▶広島大学と連携して、同大学留学生を対象にした就職交流会を2019年12月初開催

イベント後も、留学生の企業訪問・面談のサポート、社会保険労務士や行政書士によるアフターフォローまで行うことで、2019年度は1年間で**留学生6名**が地元企業に就職!

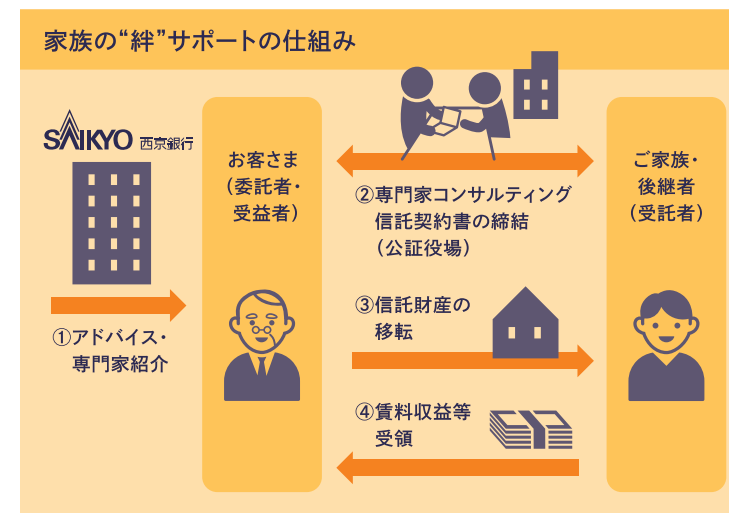
### ③ 高齢化に対応した金融サービス



## 民事信託

※民事信託:お子さまやお孫さまなど、信頼できるご家族等に、自分の財産管理を託すことができる仕組み

- ▶生前に財産管理を託せるため、認知症対策としても注目
- ▶お客さまのニーズに合わせて、オーダーメイドで信託プランを設定



### ④ 環境保全



## 通帳アプリ (2020年10月導入予定)

- ▶口座の残高や入出金の明細をスマートフォンで確認
- ▶便利なアプリの普及により、ペーパーレス化による環境保全を促進



アプリの画面イメージ



# - ACT REPORT -

## 頑張れ! ACT SAIKYO



### ACT SAIKYO 地元で勝利!

S/Jリーグ2019山口大会

総勢1,500名が  
応援にかけつけて  
くれました!



第1ダブルス (中村・重田ペア)



シングルス (齋藤 菜)

第2ダブルス (加藤・柏原ペア)

たくさんのご声援ありがとうございました!

### 「Netz ACT号」始動!

ACT SAIKYO選手のために、ネットヨタ山口株式会社さまから、10人乗りハイエースをご寄贈いただきました。



## 感謝の気持ちを込めて、 特別金利を提供いたします!

～順位に応じて金利を上乗せ～

おかげさまで10周年!

### ACT SAIKYO 応援定期預金

2020年4月1日～2020年12月30日

優勝 最大年0.40%

2位 年0.30%

3位 年0.20%

4位 年0.15%

4位 + 年0.10%

S/Jリーグ2020の順位により、金利を上乗せ

預入期間 1年 0.10%

※各ブロックの順位により、金利を上乗せします。

0120-240-606 (通話料別) 西京銀行

#### ◆ S/Jリーグ順位決定戦の解説 ◆

- 2ブロックに分かれ、ブロック総当たり戦の結果により「決勝トーナメント」と「順位決定戦」へ。
- 各ステージで最終順位が決定。

今年のACT SAIKYOの目標

**TOP4 決勝**  
トーナメント

各ブロック  
上位2チーム

Sブロック

Jブロック

各ブロック  
3位以下

順位決定戦 5～10位

ここが  
ポイント!!

- ✓ キャンペーン定期金利は**1年もの0.10%** (税引前) で、店頭金利の**10倍**
- ✓ 目標とする決勝トーナメント進出で、**金利をさらに上乗せ!**
- ✓ 悲願の優勝で、**最大0.40%** (税引前)

地域の皆さまに  
勝利をお届けできるよう  
頑張ります!







**ACT SAIKYO**

BADMINTON S/J LEAGUE  
女子バドミントンチーム

# ファンクラブ大募集!!



ACT SAIKYO  
活動状況は  
こちら



【会員特典】 ※年会費決済後、送付いたします。

1. ファンクラブ会員限定会報誌
2. ACT SAIKYOオリジナルグッズ

【ご入会案内】

年会費 **3,000円**

ACT SAIKYOホームページ、またはお申込用紙を  
ご記入のうえ、お近くの西京銀行へ!

**ACT SAIKYO事務局**

〒745-0015 山口県周南市平和通1丁目10-2  
TEL 0834-22-7665 FAX 0834-27-1733

